

「なくてならぬもの」 —先週の講壇より—

「主はその愛する者に、眠っている時にも、なくてならぬものを与えられるからである。」詩篇 127:2

最近では民間主導のロケットが宇宙へ飛ぶ時代になりました。特別な人以外の、つまり民間人が宇宙へ行くなどということは、SF 映画やマンガのお話だと思っていましたが、いよいよそれが現実に近いのだと思うと、何とも不思議な気持ちです。

そんな中、今年6月に飛び立った民間ロケットに乗った2名が、宇宙ステーションに行ったまま戻れなくなっているというニュースを見ました。当初は8日間の滞在であったはずが、ロケットのトラブルによって帰れなくなって、ついにはそのロケットは無人のまま地球に戻ることにしたというのです。ということは、この2人はそのまま宇宙ステーションに残ることになり、何と来年2月に別の民間ロケットが迎えに行くまで滞在しなくてはならないということなのだそうです。十分に空気も食料もあるということですし、そんな事態への対応も訓練済みなのでしょうけれども、ご本人やご家族のお気持ちは想像することも出来ないほどです。

人生には、思ってもみないことが起こることが多々あります。備えあれば憂いなし、などとも言われますが、そんな余裕などないような状況だって起こります。しかし、だからこそ、私たちは主を見上げるのです。なくてならぬものを与えてくださる全能の神様に！

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024 年 9 月 15 日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～

聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

「主を仰ぎ見て、光を得よ」

詩篇 34 : 5

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

ブレイク : 10:30-10:45

聖書クラス : 10:45-11:45

(現在第二と第四または第五週)

